メディア各位

『葬送のフリーレン』から「ノリタケ」とのコラボアイテム「ノリタケコラボカップ&ソーサー」の受注を開始！！アニメ・漫画のオリジナルグッズを販売する「AMNIBUS」にて

「AMNIBUS」にて『葬送のフリーレン』から「ノリタケ」とのコラボアイテムの受注を開始いたします。

arma bianca

株式会社 arma bianca
〒164-0013 東京都中野区弥生町 3-35-13　335 中野新橋ビル 3F
広報担当　齊藤直樹
support@amnibus.com

株式会社アルマビアンカはオリジナルグッズを展開する通販サイト、「AMNIBUS」にて『葬送のフリーレン』から「ノリタケ」とのコラボアイテムの受注を開始いたします。

株式会社アルマビアンカ（本社：東京都中野区、代表取締役:坂井智成）は「日常でも使用できる」をコンセプトにしたオリジナルグッズを展開する通販サイト、「AMNIBUS」にて『葬送のフリーレン』から「ノリタケ」とのコラボアイテムの受注を 8 月 5 日（火）より開始いたしました。

▼受注サイト：AMNIBUS(アムニバス)

AMNIBUS

https://pr.armabianca.com/frieren-noritake/
「日常で使える」キャラクターグッズをお届けします。

▼ノリタケコラボ カップ&ソーサー

▽フリーレン　カップ＆ソーサー

フリーレンの旅のお供でもある大きなカバンと青い蝶がポイントの、日常使いしやすいデザインのカップ＆ソーサーです。
たくさんの小物の中にはひっそりと鏡蓮華の指輪も忍ばせており、カップ全体でフリーレンを彷彿とさせるデザインに仕上げました。

▽フリーレン＆ヒンメル　カップ＆ソーサー

ヒンメルの故郷の花「蒼月草」がポイントの、日常使いしやすいデザインのカップ＆ソーサーです。
「いつか君に見せてあげたい」というヒンメルの想いと、ヒンメルの像に花冠を乗せるシーンをオマージュし、フリーレンとヒンメルをイメージした鳥に花冠を添えたデザインに仕上げました。

▽勇者一行　カップ＆ソーサー

フリーレンが第二話で見せた花畑を出す魔法をイメージした、日常使いしやすいデザインのカップ＆ソーサーです。
花畑を出す魔法や凱旋シーンの花吹雪を彷彿とさせる花柄のデザインに、勇者一行の武器を添えて仕上げました。

©山田鐘人・アベツカサ／小学館／「葬送のフリーレン」製作委員会

©山田鐘人・アベツカサ／小学館／「葬送のフリーレン」製作委員会

カップ裏、ソーサー裏にはノリタケロゴと、作品タイトル『葬送のフリーレン』の文字をそれぞれ印字しております。

ノリタケの美しいボーンチャイナにカップ淵、ソーサー淵の金が輝く、高級感漂う一品に仕上げました。
あなたのティータイムが素敵な時間となりますように。

※金の装飾が施された商品のため、電子レンジでご使用いただけません

▽仕様
価格　：各 ¥17,380(税込)
種類　：全 3 種（フリーレン、フリーレン＆ヒンメル、勇者一行）
サイズ：カップ：（約）口径 9×長径 11.5×高さ 6cm（取っ手含む）
　　ソーサー：（約）直径 15×高さ 2cm
容量　：（約）240cc（満水）
素材　：ボーンチャイナ

▼ノリタケについて

白く、美しく、精緻な洋食器を、この日本でつくりたい。
貿易商として日本の骨董や雑貨を輸出していた森村市左衛門らが、パリ万国博覧会(1889 年)で美しく絵付けされたヨーロッパ製の磁器を目の当たりにし、心に固く誓ったことからノリタケの歴史は始まりました。
1904 年、近代的な工場を建設し、ディナーセットの研究を開始。試行錯誤の末、1914 年、日本で初めてディナーセットの製造に成功。
米国を中心に輸出された日本製のディナーセットは好評を博し、やがて「ノリタケチャイナ」の名で、世界に知られるブランドへと成長を遂げました。
以来、ノリタケの洋食器や陶磁器製品は、日本の美意識を活かした繊細なデザインや、高い品質と品格によって、世界中でご愛用いただいています。

▼受注サイト：AMNIBUS(アムニバス)

https://pr.armabianca.com/frieren-noritake/
https://x.com/AMNIBUS
「日常で使える」キャラクターグッズをお届けします。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】
株式会社 arma bianca
住所： 〒164-0013 東京都中野区弥生町 3−35−13　335 中野新橋ビル 3F
お問合せフォーム：　https://armabianca.com/contact
担当： 齊藤直樹
Mail：　support@amnibus.com

発行元　　株式会社 arma bianca
Web　　https://armabianca.com/

©山田鐘人・アベツカサ／小学館／「葬送のフリーレン」製作委員会